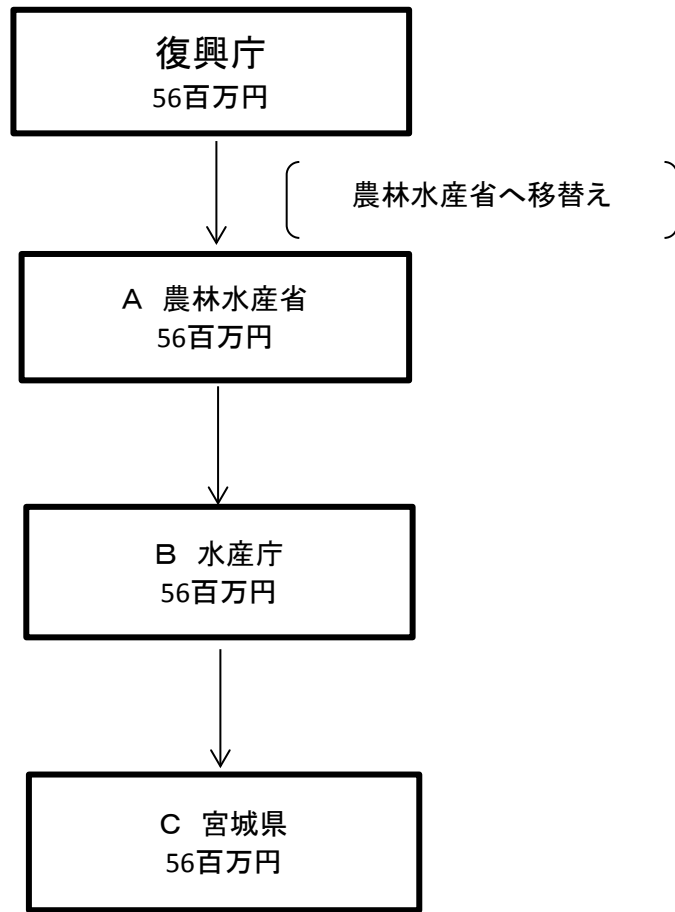


平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	農林水産業共同利用施設災害復旧事業			担当部局	復興庁			作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了年度未定	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 小瀬 達之
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律第3条			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づき、東日本大震災により被害を受けた農林水産業共同利用施設の復旧を行うものであり、被害を受けた農林水産業の維持を図り、あわせてその経営の安定に寄与することを目的としている。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被災した、農林水産業共同利用施設(農林水産業用の倉庫、加工施設、共同作業場、市場施設、種苗生産施設、養殖施設、家畜繁殖施設、共同放牧施設、公害防止施設、鳥獣侵入防止施設)の復旧に要する経費の一部を国が負担する。 補助率:3/10~9/10(激甚災害)							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	56	15	0	
	執行額	-	-	56	-	-		
	執行率(%)	-	-	100%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	
	-	-	達成度	%	-	-	-	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績			
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	災害復旧事業の採択件(地区)数	活動実績	件	0	0	1		
		当初見込み	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	計算式	/	-	-	-	-		
年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	工事費	15						
	計	15	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	事業の目的である共同利用施設の復旧は農林水産業の維持及び経営安定を図るなど国民や社会にとって不可欠なものであり、ニーズを的確に反映したものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	被災した農林水産業共同利用施設を復旧し、農業経営安定等を図ることは、国の責務である食料の安定供給等に資するものであるが、災害が発生しやすい我が国においては、農林水産業者等の経済力のみでは、被災した農林水産業共同利用施設を復旧することは困難であるため、国が補助するものである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	事業は災害へ対応するものであるとともに、災害の発生状況により事業・規模等が一樣ではないことから、定量的な成果目標を示すことができないが、前段の定性的な目標及び代替目標のための達成手段として適切である。なお、本事業は特定の政策体系に位置づけられている事業ではない。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	各地区の執行に当たっては、一般競争入札等により競争性のある方法により支出先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等にて国と農業協同組合等(地方公共団体)の負担割合を規定している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	工事内容や人件費、資材費の変動により工事費が変動することから、年度間の単位当たりコストの比較は適当ではない。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	中間段階の支出はない。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途については、事業目的に則した工事費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	執行率90%以上。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	現場発生材の有効活用等、工事コスト削減の取組を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	被災を受けた農林水産業共同利用施設の復旧により、農業経営安定等を図っているところである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は、災害復旧事業計画概要書の査定の実施や事業着手、実施計画、事業計画の変更時における財務省協議などの手続きを通じて有効性を担保している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	実際の災害の発生状況により、事業内容及び規模が左右されるため、あらかじめ見込むことはできない。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業は被災した施設を原形復旧するものであり、事業の採択にあたっては、当該施設の活用を前提としている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	他部局が所管する災害復旧事業とは対象施設が異なり適切に区分している。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	農村振興局	323	農業施設災害復旧等事業		
	林野庁	326	山林施設災害復旧等事業		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、 ・農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づき、東日本大震災で被災した共同利用施設の災害復旧事業である。 ・本事業の活用が可能になった際に適切に対応できるよう、予算措置することが必要である。			
	改善の方向性	・適正な事業実施に努め、早期の復旧に取り組む。(平成25年度までは、農水省所管の一般会計(復興関連事業)として実施していたが、平成26年度より復興庁所管の東日本大震災復興特別会計として実施)			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新26-016	平成26年度	新26-012		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・用途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.農林水産省			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56			
計		56	計		0
B.水産庁			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56			
計		56	計		0
C.宮城県			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56			
計		56	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.本省

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	農林水産省	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56	—	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B各庁及び地方農政局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	水産庁	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56	—	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C都道府県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県	共同利用施設(廃油処理施設)の復旧に係る経費	56	—	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					